

秋の街頭啓発 安全運転を呼びかけ 3500日達成直後に死亡事故発生

9月21日秋の交通安全運動（9月21日～30日）の実施に合わせて、国道237号沿い道の駅「自然体感じむかっぶ」前で街頭啓発（旗の波運動）が行われました。

村では、9月20日に「交通事故死ゼロ日3500日」が達成されましたが、10月2日に赤岩青巖峡で死亡事故が発生しました。



村の 出来事

9月・10月

村内の出来事、話題 をお届けします

📄のマークがついている記事は、占冠村HPの「動くしむかっぶ」で見ることができます。

交通安全対策会議開く

10月5日、総合センターで交通安全対策会議が行われました。

8月末の台風被害により、国道38号と日勝峠が通行止めとなりました。代替路として無料措置となった道東自動車道占冠インターチェンジの乗降が急増し、村内を通過する車両が増えました。住民の敷地内でのUターンの多発やUターン車両による物損事故などが発生しました。

ネクスコ東日本、道警、道、開発局などの関係者が集まり、情報共有を図るとともに、安全対策について協議が行われました。



物産館でフリーマーケット

9月24日、物産館の空きスペースを利用してフリーマーケットが行われました。

昨年3月に引き続き行われたフリーマーケットは、家庭の中で不用になった衣類や雑貨などが販売されました。



【10月1日付】

占冠村教育委員会

伊藤 修
教育委員
（任期 平成32年9月30日まで）

上手に撮りたい！写真教室でまなぶ

9月29日に、総合センターで自然写真家 門間敬行さんを講師に、公民館写真教室が行われました。9名の参加者はカメラを手に実際に撮影するなど、基本的なカメラの使い方や上手な写真の撮り方を学びました。

講師からは、「オートで撮るよりもマニュアルで撮るのもよい」「動きを変えて撮ると印象が違ってくるので、いろいろな動きで撮ってみて」と話されました。

10月8日には、赤岩青巖峽へ行き、屋外の写真の撮り方を学びました。



秋の味覚に舌つづみ 紅葉まつり

10月2日、占冠村農村公園で第36回占冠村紅葉まつりが行われました。

会場は、なめこ汁をはじめ、ヤマベの塩焼きや鹿肉ロースト、さんまなどの海産物が売られ、村内外から多くの来場者でにぎわいました。

ステージでは、カボチャの重さ当て、なめこ運びなどのゲームとヴィレッジライブが行われ、来場者は、秋の味覚を味わいながら、お祭りを満喫しました。



若者がスポーツ交流！

10月1日に、占冠中学校体育館でスポーツ交流大会が行われました。

富良野沿線5市町村在住の39歳以下を対象に行われ、20名が参加しました。

空気をふくらませた透明な筒状の風船に入ってサッカーをするバブルサッカーなどのスポーツを楽しみました。

スポーツ後はバーベキューを囲み、交流を深めました。



もしもの災害に備えて 各地域で防災訓練

トナム町内会

10月15日に、水害を想定した避難訓練が実施されました。避難後、消防占冠支署と占冠消防団による応急処置体験、消火器の使い方、土のう作り体験、煙体験が行われました。

体験終了後には、炊き出し体験としてカレーライスを作り、参加者でいただきました。



本通行政区

9月17日、保健福祉センターで防災訓練が行われました。消防占冠支署職員を招き、身の回り道具を使った止血や骨折時などの応急手当や消火器の使い方を学びました。

また、災害時の対応について、心配になることやわからないことなどを話し合いました。

